

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒156-0056 世田谷区八幡山

3-33-1 林マンション301

TEL/FAX:03-3304-1108

http://www.ttsukush

sakura.ne.jp/発行者 眞壁 博美

2022.4.15 第381号

つくしだより



令和4年4月号

関東ブロック都県連会長会議報告

都連会長 眞壁 博美

「関東ブロック会長会議」は、従来、年2回、東京都障害者福祉会館を会場として都県連の役員が集まり、家族会活動の様々な課題について交流・協力してきました。ところが、コロナ禍のため、2020年度は、対面での会議は行えず、オンラインで1回だけ実施しました。2021年度は、2回ともオンラインで開催しました。

今回は、2月22日(火)に開催された第13回会長会議の報告を中心におこないます。

◆みんなねっと東京大会報告

全国大会の都連としての反省と決算報告をしました。大会参加者自体は少なかつたものの、受付から冊子やDVDを配送するなどの作業をすべて理事と事務局でやったので、支出を大幅に抑えて黒字になったこと等を話しました。各県連の役員さんたちから、「コロナ禍の大変な中、都連の皆様の奮闘により、とても素晴らしい大会ができたこと心からお礼申し上げます。お疲れ様でした。」と

お礼と労いの言葉をいただきました。

◆関東ブロック大会について

2020年度の関東ブロック大会は、千葉県連が開催する予定で準備を進めていました。定員1500名ぐらいの大ホールを借りていたので1/2の定員になっても大丈夫だと思っていたのに、大会開催の1ヶ月前に、千葉県から突然「会場を貸しません」といわれ、急遽、大会が中止となってしまいました。

千葉県連としては、助成金をとっている関係もあり、予定していた講師の講演をDVDにして、家族会や関係機関に配布するという手だてをとりました。この代替え措置をめぐり、千葉で関東ブロック大会をやったことにするのかしないのかでなかなか結論がでないままでした。やっと今回の会議で、千葉県が大会をやったと認められました。次の当番県は、神奈川県となりますが、準備が間に合わないので、2022年度の関東ブロック大会は、中止となります。

なお、2022年度の全国大会は広島、2023年度は埼玉となります。(埼玉は、全国大会とブロック大

会を兼ねます)神奈川県は関東ブロック大会を2024年度に開催することになります。

◆都県連事務所費についての交流

東京つくし会の支出の中で、1/4を占める事務所家賃は年間100万円で、会費収入が減るなか、重い負担となっています。関東の6つの県連の事務所のことをきいてみると、どの県も、県の公共施設に事務所が入っています。「精神保健福祉センターの1部屋を3団体で使っている(数年前から家賃が有料になったが、たいした額ではない)」「障害者交流センターの事務所に、机とパソコンを置いている」「県精神保健センターに、18㎡ぐらいの事務所を借りている(家賃は年間3万2千円・光熱費・共益費込み)」「社会福祉センター事務室入居が内定し、2022年11月に入居予定(家賃は年間17万6千円。共益費が高いので交渉中)」「健康センターの中に入っている。家賃は無しで、光熱費を払っている」等の話が出ました。



多摩ブロック交流会報告

都連理事 江頭 由香

日時 3月5日(土) 13時30分～16時

会場 府中ふれあい会館

参加者 16単会・24名

眞壁会長挨拶後、都連報告、その他、来年度単会訪問案内、「親なき後アンケート」報告、都民講演会「引きこもり支援」報告、来年度評議員会と上半期講演会、来年度実施「単会実態調査」、みんなねつと関東ブロック大会予定の説明がありました。

各単会からの家族会活動については、前回12月以降について報告をお願いしました。

・コロナ影響により、1月2月は活動中止、3月から開催予定の会が多かった。活動中止中に、会員に電話連絡していた会あり。

・当事者と家族の交流会を行っている会あり。
・市の紹介で若い方の相談を受けることもあり、家族会活動の必要性は継続している。

・役員について、高齢化、担当者不足の会あり。また、現在の会員の高齢化だけでなく、新規会員の高齢化もあり、今後の会の運営について不安がある。

・小平市では10月から登録制の地域生活拠点、24時間緊急時対応開始。

・国分寺市では、精神保健福祉手帳申請のための診断書の補助金(九千円)がつくように

なった。(身体障害者向け手当を減額して精神障害者に付けた補助。)

・「にも包括」について、小平市、稲城市では自立支援協議会で議論され、連絡会、WG、研修会等の実施につながった。

・国立市では、LINEによる交流会あり。
・既にHP公開している家族会よりHPをみて会への参加報告があり。簡単なHP開設に関する説明希望あり。

※次回予定 10月29日(土)予定、または、10月22日、11月5日。場所は府中市ふれあい会館予定。

23区ブロック交流会報告

都連理事 前山 栄江

日時 3月6日(日) 9時30分～12時

会場 東京都障害者福祉会館

参加者 14単会・18名

眞壁会長の挨拶の後、「親亡き後の調査」を依頼された国立保健医療科学院の吉岡先生が東京つくし会理事会で行った報告の紹介がありました。1212通出して40・2%の477通の返信があり、この数字は、

普通は20%位なので、それに比べると大変多くの返信をいただきましたと感謝されました。調査の結果がまとまり次第、報告書を各家族会に郵送いたしますとの事でした。

その後、轡田副会長より都連の報告がありました。

①単会数の減少、会員数の減少
②みんなねつと全国大会の会計報告
③年金相談事業について

④単会訪問について
⑤都民講演会 2月19日、オンラインで行われた、埼玉けやきの会家族会代表田口ゆりえ氏「引きこもりの支援の現場から」日常の関わりと成長、会話の工夫」の報告

⑥評議員会と上半期講演会について
・6月23日(木) 10時～12時 北沢タウンホール(下北沢駅より徒歩5分)にて

・午後 講演会 講師東京さつきホスピタル副院長 発達思春期精神科医 遠藤季哉氏
演題「こんなときどうしたらいいの? 思春期のこころの病かな?」

⑦その他 今年度のみんなねつと全国大会は10月13日～14日に広島で開催予定。関東ブロック大会は中止。来年度の全国大会は埼玉県で開催予定。

次回ブロック会議は10月で日時未定
当日は東京マラソンの開催日で、都障害者会館はスタッフの車や救急車が多数駐車して待機していました。会館の前あたりが折り返し点になっていて、多くの市民ランナーが通り過ぎていきました。

「みんなねっと」主催

家族相談員交流会に参加して

都連理事 安藤 万寿代

2月5日(土)午後1時～3時、オンラインでの開催で、轡田さん・安藤が参加しました。今年度、「みんなねっと」では日本財団助成事業として、家族相談のスキルアップのためのeラーニング講座「家族相談で大切にしたいこと」を作成し、今回の交流会で都道府県の皆様にのみ公開し、相談員の方や相談員になろうとする方にご覧いただくことで、家族相談のスキルアップや相談員の養成が可能になるシステム作りの第一歩と位置づけていました。

参加者は70名程で、7つのグループに分かれ、自己紹介で名前・所属・経験年数から始まり、北海道の札幌の方や岡山県連・群馬県連・佐賀県連等々の家族相談員の皆様が、それぞれの現状と問題点を報告されました。

※全体会・各グループからの報告から

電話相談は一对一なので、大変緊張する。家族相談は相談者から「話を聞いて頂ける場なので、ホットする」の声を頂いた。家族相談は時間が長くなるので、時間の制限を伝えるのが難しい。傾聴の難しさを感じる。知ったかぶりをしないように努めている。当事者からの相談が役に立った。改めて傾聴の大

切さを学んだ。相談員同士が相談事について、

振り返りや学びが必要と思う。相談者の心の

揺れを、受け止める。相談を受けた時、これ

で良かったかと思う時もある。3か月に1回、

事例検討会を開いている。相談員のガイドブ

ックを作っている。相談員のスキルアップが

必要。電話相談は音声のみでの判断なので、

言葉の響きで感じて話している。相談内容は

後々の参考になる。

今回は初めて、オンラインで全国の家族相

談員とお話ができ大変良かったです。来年度

からeラーニングを事業として活用してい

きたいと、事務局からお話がありました。

はばたき そしてあしたへ

都連副会長

本田

道子

春の風が街をさくらに染めている

街路樹も固い冬芽から緑の芽へ

気の早い樺はもう若葉を茂らせている

タンポポが咲き出すのも、もうまもなく

やっと 春がやってきた

それは長いながい 冬の季節だった

4畳半の空間

開けられることのないオレンジのカーテン

明日の希望が見えないつらさ

それは本人も 家族も 同じ

そして、親は決断した

本人が動けないのなら動ける環境を作り出

せばいい

強制退去を迫られた彼はしづしづグループ

ホームへ

でも そこでも辛さは変わらない

だが しかし

辛い運命にも 女神は微笑む

新しい世話人が登場したのだ

彼の運命はここから開けた

ホームから 地域のアパートへ

そして作業所へ 瞳が輝きを増している

新しい出会いが 新たな自信を生み

彼はどんどん どんどん 変わっていった

人を変えるのは やっぱり人の力

あたたかな 春の風のような

やわらかな人のぬくもり

それは親ではない第三者の力

今が冬の季節でも 必ず春はやってくる

生きる力を 信じていたい 春です

＜都連や各単会の情報交流コーナー＞

このコーナーは都連や各単会の活動内容や情報提供の場として使いたいと思います。都連と会員の皆様が互いに情報を共有することで、より良い家族会活動の手助けになることができればと思っておりますので情報の提供をお願いします。毎月20日までに、つくし会事務局に情報をお寄せください。(FAX : 03-3304-1108 又はメール : tsukushikai@chorus.ocn.ne)

○5月23日(月) 14:00~16:00 さくら会 講演録画ビデオ上映。

3月6日に行われた、往診メンタルクリニックゆっくり院長の星野弘先生の講演が好評だったため、当日の録画ビデオ上映。 問合せ・申込 世田谷さくら会 03-3308-1679 一般300円。

○タクシー券の支給

4月より渋谷区で実施。練馬区、中央区、港区、杉並区、府中市、武蔵野市、三宅村は既に実施。2022年度の予算要求の参考に。



★ 賛助会費 ★

おかげさまで2021年度の賛助会費は、
個人 (一口2千円) 35000円
団体 (一口5千円) 50000円
病院 (一口1万円) 100000円
診療所 (一口5千円) 1000000円
計150,000円となりました。
誠にありがとうございます。

東京つくし会 賛助会員加入のお願い

心の病に悩む人たちの医療と福祉の改善を求める活動に取り組んでいる本会は、都内の家族会それぞれの会費収入の中から納められる年会費と賛助会員の皆様の年会費によって賄われており、この賛助会の収入は貴重な財源になっております。つきましては、ぜひ本会の賛助会員になって頂きたい、何口でも結構でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



★ 講演会のお知らせ ★

○「地域の力Ⅱ多機能型精神科診療所」
日時 5月14日(土)

講師 錦糸町クボタクリニック

精神科医 窪田 彰氏

会場 新宿区立障害者福祉センター

主催 新宿フレンズ ☎03-3987-9788

編集後記

「便利でお安く楽しく」

私は夕食準備の際に、スマートフォンでアプリを使ってラジオ番組を聴いています。ラジオのアプリは無料で過去の番組が聴けず、数百円で全国の番組も聴けるので、かなり楽しめます。

夕食準備なので水を使いますが、スマートフォンに水がかかってはいけませんので、防滴タイプのスピーカーに無線LANで接続しています。このスピーカーが有名企業の商品では、数千円します。スマートフォンを守るために購入したのですが、先日、いわゆる百円ショップで同機能の商品が扱われているのを知りました。さすがに百円ではなく五百円しましたが、無線LAN接続できる防滴スピーカーでした。充電時間等機能の制限はありませんし、長く使い続けられるか心配ですが、百円ショップが扱う商品の幅広さに驚きました。

百円ショップという生活用品の買物が中心でしたが、他にも便利でお安く面白い商品がありそうでしたので、今度探索してみたいと思います。

都連理事 江頭 由香



つくしだよりは赤い羽根共同基金の配分を受けて発行しています。